

リウマチ性疾患における生物学的製剤、分子標的薬のデータベース構築に関する研究

研究の概要

関節リウマチをはじめとした膠原病や、乾癬、脊椎炎、炎症性腸疾患に伴う関節炎では、生物学的製剤や分子標的薬（JAK 阻害薬等）で治療成績が大きく向上しています。各薬剤とも、発売前に患者さんを対象とした有効性、安全性の確認が行われており、おおよその効果や注意すべき点がわかっています。しかし、実際の臨床では、薬剤を使用する患者さんの年齢や併存症、病気の状態が異なるため、全国各地でデータベースを構築し、薬剤の効果や安全性について長期的な研究を行っています。中越地区は全国と比較し、高齢化が進んでいる地域であり、将来にわたり、より正確な情報を提供するため、データベース構築を行います。あなたの通常行われている血液検査結果や痛みの具合などの自己評価結果をもとに効果や安全性を調査していきます。将来的に、同じ疾患の方へのより良い治療の提案、管理の仕方の向上につながる可能性があります。

対象者

長岡赤十字病院リウマチ科、腎膠原病内科、整形外科で、関節リウマチや膠原病など関節炎を起こして生物学的製剤や分子標的薬（JAK 阻害薬など）で治療を受けた患者

対象期間

本研究の実施許可日～2028年12月31日

研究方法

通常の診療で行う血液検査や関節の症状の評価、他の疾患の発生などの結果をコンピューターに登録していきます。患者さんに新たな負担はありません。研究結果は、学会、専門雑誌などでの発表に使用される場合がありますが、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

新潟県長岡市千秋 2-297-1

長岡赤十字病院

リウマチ科 根津貴広

0258-28-3600（代表）